



TYCレース2025 帆走指示書

主催 東京ヨットクラブ (TYC)
後援 東京夢の島マリーナ
協力 日本セーリング連盟 (JSAF)
株式会社ユニマツプレシヤス

1. 適用規則

セーリング競技規則2025-2028(以下「RRS」と略する)で定義されている規則
OSR2024-2025付則Bインショアレース用特別規定およびOSR国内規定
レース公示、本帆走指示書に矛盾が生じた場合、帆走指示書を優先する。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、東京ヨットクラブ (TYC) ウェブサイト上のTYCレース公式掲示板に掲示される。但し、保田帆走会は別途帆走指示書で表記する。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、レース当日、09:00までに公式掲示板に掲示される。
但し、レース日程の変更はレース前日の17時までに公式掲示板に通告される。
レース海面での帆走指示書の変更は、予告信号前に本部船にて音響一声とともに「L」旗を掲揚し本部船から口頭または、ホワイトボードに記載して行う。

4. レース日程

TYCレース2025 日程表

日程	レース内容	レースコースと周回数
3月23日(日)	第1戦 オープニングレガッタ *	ブイ回り(4~5レグ)
4月6日(日)	第2戦 スプリングレガッタ	セミロング
5月11日(日)	第3戦 東京港ヨットレガッタ *	ブイ回り(4~5レグ)
6月15日(日)	第4戦 ジューンレガッタ *	ブイ回り(4~5レグ)
7月6日(日)	第5戦 七夕レガッタ	セミロング
8月17日(日)	保田合同帆走会	
9月14日(日)	第6戦 セプテンバーレガッタ *	ブイ回り(4~5レグ)
10月5日(日)	第7戦 オータムレガッタ *	ブイ回り(4~5レグ)
10月19日(日)	第8戦 ノーベンバーレガッタ	セミロング
11月9日(日)	第9戦 TYC理事長杯 *	ブイ回り(4~5レグ)
12月6日(土)	年間総合成績発表	

*レースのレグ数は、本部船または公式掲示板により指示する。

5. 出艇申告

参加艇は当該レースの艇長会議が始まるまでに、レース参加者名簿をレース本部に提出し確認を受け、リコーナンバー記載のクラス旗並びに所定の連絡票を受け取ることで出艇申告とする。

但し、夢の島マリーナ以外の参加艇は当該レースの前日までに、**レース参加者名簿をメール(race@tyc.gr.jp)にて申告する。**

クラス旗並びに所定の連絡票の受領について、年間エントリー艇及び外来艇は後述する「申告の特例」で代替をすることが出来る。

6. 艇長会議

タイムスケジュールは下記とする。変更は、事前にTYC HPまたは当該レース艇長会議にて発表する。

- 8:30 出艇申告受付開始
- 9:00 出艇申告締切・艇長会議開始 (第3戦は11時00分、第7戦は10時00分の予定)
- 11:00 最初のクラスのスタート予定時刻
但し、第3戦は13時00分(予定) 第7戦は12時00分(予定)とする。

7. クラス旗

クラス旗は次の通りとしリコールナンバーが記載される。

レースクラスA	ブルー	旗
レースクラスB	グリーン	旗
レースクラスC	イエロー	旗
クルージングクラス	ピンク	旗

参加艇は受け取ったクラス旗を、バックステー等の視認しやすい場所に掲揚する。

レース参加艇は、海上エントリー及びレース中にクラス旗を掲揚しなければならない。

8. レース海面

通常レースは、東京ディズニーシー沖付近海域、またはディズニーシー沖から京葉シーバース西北西約1.8マイル付近のブイとの往復とする。レースコースは後述する※「ブイの予定位置」とする。

コース・位置の変更は本部船から指示される場合がある。

通常レース以外に保田帆走会を開催する。なお保田帆走会は別途帆走指示書で詳細を指示する。

9. コース

コースは、下記の2コースとし、年間スケジュール表によって決められる。

- ・通常レース ブイ回り 4レグ または5レグ 1レース
- ・通常レース セミロング 2レグ 1レース

レースのレグ数、レース数及びコースは、本部船により、変更される場合がある。

回航はマークをアンクロックで回航する。

10. マーク

スタートマーク兼風下マークおよび風上マーク（セミロングにおいては回航マーク）はオレンジ色の円筒型ブイを用いる。フィニッシュマークは黄色の円筒型ブイを用いるが、4レグまたはセミロングの場合、上記回航マークを用いる場合がある。

11. 海上エントリー

レース参加艇は、本部船に「L」旗と「Y」旗が掲げられて、最初にスタートするクラスの準備信号が発せられる迄に、レース海面において本部船をスターボード側（右側）に見ながらスターン側から近づきバウ側に進行して本部船からの確認を受け、海上エントリーを行われなければならない。その際、他の艇との接触に注意し確認を受けた艇は速やかに本部船から離れる。

「Y」旗の掲揚にかかわらず、レース参加艇のすべての競技者は、衣類または個人装備を一時的に着替えたり整えたりする間を除き、型式承認を受けたライフジャケットまたは、その他の適切な（※1）個人用浮揚用具を着用していなければならない。海上エントリー及びレース中に競技者がこれを履行していない場合はレース委員会より抗議される。

※1： J S A F 登録艇に限り、外洋特別規定等で規定されているものでもかまわない

L旗



Y旗



12. スタートライン

本部船のTYC大エンサイン旗を掲げたポールとスタートマークを結ぶ線。

TYC
大エンサイン旗



13. スタート

スタートは、RRS 26に従い次の通りとする。

時間	視覚信号	音響信号
予告信号 (5分前)	クラス旗 掲揚	音響1声
準備信号 (4分前)	P旗 (又はI旗) 掲揚	音響1声
1分信号 (1分前)	P旗 (又はI旗) 降下	長音1声
スタート	クラス旗 降下	音響1声

P旗



準備信号

予告信号は各クラス旗とする。

10:55 最初のクラスの予告信号予定時刻

11:00 最初のクラスのスタート予定時刻

但し、第3戦は13時00分(予定)第7戦は12時00分(予定)とする。

スタート順は、次の通りとする。

始めにスタートするクラス

クルージングクラス及びレースクラス C

次にスタートするクラス(10分後)

レースクラス A 及びレースクラス B

予告信号が未だ発せられていないクラスの艇は、発せられたクラスの艇のスタートを妨げてはならない。レース参加艇は、各クラスのスタート信号後4分以内にスタートしなければならない。スタートできなかった艇は、以後スタートはできず、次のクラスのスタートがある場合は、その艇のスタートを妨げないように速やかにスタートライン及びプレスタートサイドから離れなければならない。

スタート時のスピナーカー（ジェネカー含む）使用については、スタート信号後、スタートラインを艇全体が完全に横切るまで展開（ホイスト）を認めない。違反した場合は所要時間に対して10%のペナルティを課す。（RRS付則A4の変更）

セミロングレースの場合は、次のスタートは15分後とし、レース参加艇は、各クラスのスタート信号後10分以内にスタートしなければならない。

14. スタート延期

予告信号前、または予告信号後でもスタート信号前に、何等かの理由によりレースを延期することができる。スタートの延期は、音響信号2声と共に「AP」旗を掲揚する。その際、クラス旗や「P」旗その他スタートに関する旗は降下される。その後の予告信号は音響信号1声とともに「AP」旗を降下した1分後に発する。

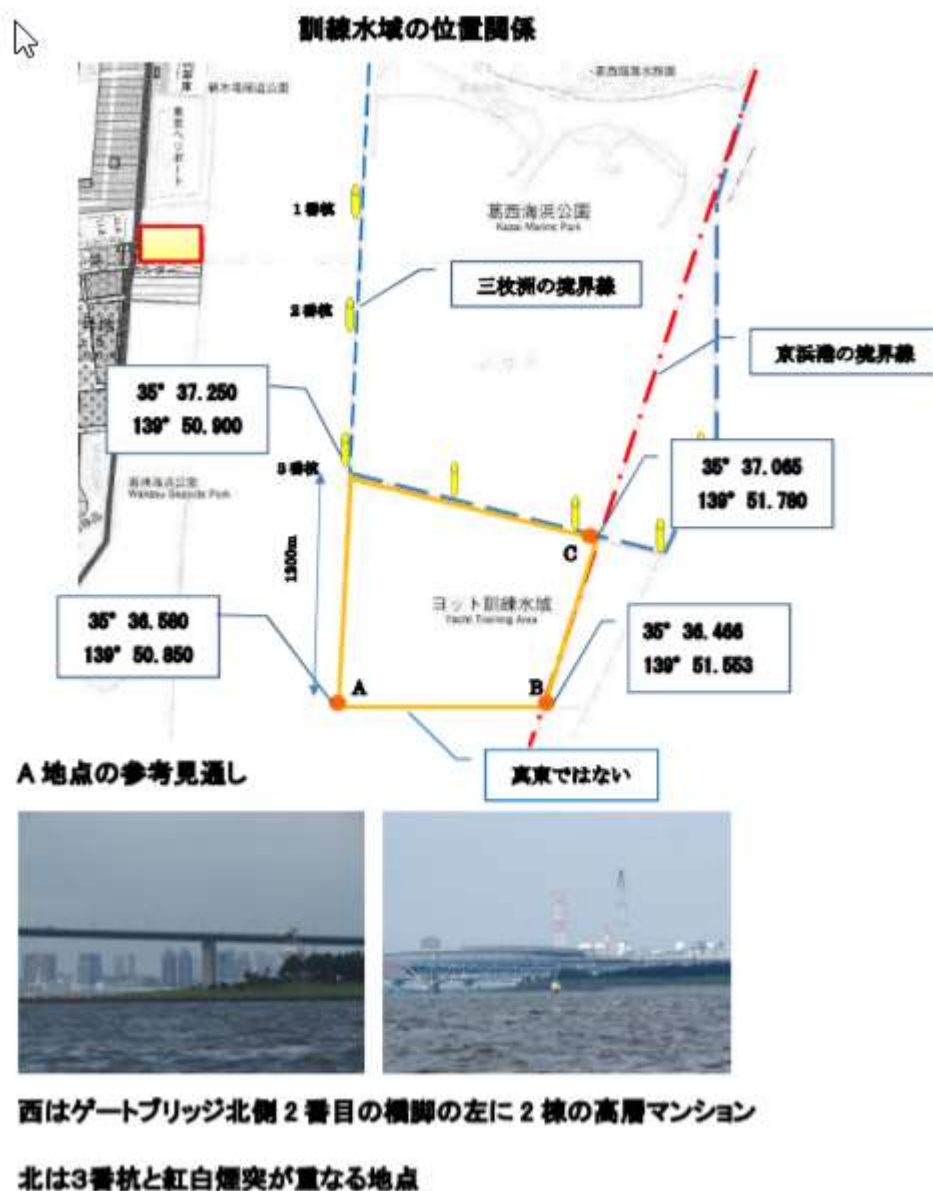
15. フィニッシュライン

本部船のTYC大エンサイン旗を掲げたポールとフィニッシュマークを結ぶ線とする。

16. 航行の注意

参加艇は以下に対し、細心の注意をはらい航行すること。違反した艇はレース委員会により抗議される。

- ・東京湾アクラライン東水路の進入・航行禁止
- ・東京湾内を航行する本船（常に前後及びリーサイドのワッチを怠らないこと・本船を避けること）
- ・レース海域までの往復で、若洲ヨット訓練水域には入らない。



17. エンジンの使用

レース参加艇はレース中に動力としてのエンジンの使用は認められない。（レース中とはスタート4分前の準備信号からフィニッシュラインを横切るまで）しかし、落水者救助、遭難艇（船舶）救助、他の船舶との衝突回避（緊急避難）、離礁その他の緊急かつ切迫した事態に対処するためにエンジンを使用することができる。（RRS 4 2. 3 (i)参照）

エンジンをすみやかに使用出来なかったことは、15条各項の義務に対する免責とはならない。エンジンを使用した場合には、その状況（使用した目的・時間・場所等）について、フィニッシュ後レース本部に速やかに報告しなければならない。

18. レース・タイムリミット

レース参加艇のレース・タイムリミットは、各クラスのスタート後3時間とする。レース・タイムリミット内にフィニッシュできない艇はDNFと記録する。(RRS 35および付則A4、A5の変更)
但しセミロングにおいては、全艇15:30とする。レース・タイムリミット内にゴールできない艇はDNFとし、スタート延期によるスタート時刻の変更があっても変わらない。(RRS 35および付則A4、A5の変更)

19. レース成立

当該クラスのトップ艇のフィニッシュをもって、そのクラスのレースは成立する。
タイムリミット内に当該クラスの1艇もフィニッシュせず、かつ中止していない場合にも、そのクラスのレース艇は、当該帆走指示書第23条にしたがって表示し、得点を計算する。皆勤賞の対象レースとする。(RRS 35の変更)

20. レース中止

陸上では、レース本部に設置された公式掲示板にて通知する。また、WEBの公式掲示板に掲示される。
スタート信号後、その状況に応じてレースを中止し再レースを行う場合は本部船に「N」旗を掲揚し音響信号3声を発する。この場合、スタートした各艇は速やかにスタートエリアに戻る。
再レースが行われる場合、「N」旗は音響信号1声で降下され1分後に予告信号が発せられる。
レースコミティはレース実施基準の海況を超える天候の悪化、その他安全にかかわる場合は、レース成立後か否かを問わず、国際VHF及び携帯電話によりレースの中止を通知することができる。この場合、当該情報が通達されなかったことはレース委員会に対する救済要求の対象とはならない。(RRS 32の変更)

21. リタイア

リタイアする艇は、基本的に本部船に対してその意志を連絡しその伝達を確認すること。
無線に依る場合は、国際VHF若しくは携帯電話によるものとし、必ず受信応答を受けること。また、無線による連絡手段を持たない艇で、かつ本部船付近までの航行が困難な艇においては、帰港後、陸上レース本部に対して速やかにその旨を連絡すること。
ハーバーに帰港した際には、すみやかにレース本部に対して帰着申告を行うこと。(リタイアを海上にて連絡済みの艇においても、上記と同様に陸上レース本部に対して帰着申告時にその旨を伝えること。)

22. 帰着申告

レース参加艇は、ハーバーに帰港後直ちにクラス旗及び所定の連絡票を陸上レース本部に対して返却する。この返却をもって帰着申告とする。
但し、夢の島マリーナ以外のレース参加艇は、race@tyc.gr.jpに申告する。

フィニッシュ後2時間以内に帰着の申告のない場合、レース委員会から抗議される。
抗議された艇は、審問された結果として、レース委員会は所要時間に対して10%のペナルティを課すことでDNCに代えることが出来る。

クラス旗及び所定の連絡票の収受について、年間エントリー艇および年間エントリーの外来艇は後述する「申告の特例」で代替をすることが出来る。

23. 抗議と救済の要求

レース参加艇はRRS 60.1に従って抗議および救済要求をすることができる。抗議しようとする艇は最初の妥当な機会に相手艇に「プロテスト」と声を掛け、目立つように「赤色」旗をレース中でなくなるまで掲揚しておかなければならない。(RRS 61.1)

抗議または救済要求をしようとする艇は、フィニッシュまたはリタイア後速やかに本部船に通告すること。抗議、救済の締め切り時間は、そのレース日の最終艇フィニッシュ後90分とする。

なお抗議は公示開催趣旨を旨に、安全と正しいルールの周知のために行うことを参加各艇に強く要望する。

24. 得点の計算方法

各レースの得点計算方法は、次の通りRRS附則Aの低得点方式とする。

1位=1点、2位=2点、3位=3点、4位・・・以下、順位を得点とする。

得点記録の略語には、以下を用いて記録され得点が与えられる。

尚、クラス参加艇数は当該レースの出艇申告(※1)をした艇とする。但し、年間エントリー以外の艇で、参加申込をした艇が出艇申告がされなかった場合は、DNCと記録し参加艇と見なす。

得点記録	状況	得点
DNC	スタートしなかった。 スタートエリアに来なかった。	各クラス参加艇+1
DNS	スタートしなかった。(DNCとOCS以外)	
OCS	スタートしなかった。スタート信号トのときスタートラインのコースサイドにいてスタートしなかった。またはRRS 30.1に違反した。	
DNF	フィニッシュしなかった。	
RET	リタイアした。	
—	レース参加申込をしていない。 または、出艇申告をしていない。	
NR	レース中止、またはレース不成立となった。	0
DSQ	失格。	各クラス参加艇+2
RDG	救済が与えられた。	審問で決定
CB	コミッティを担当した。	平均点または0(※2)

※1：艇が明らかに参加できない状況にある場合には出艇申告があっても参加艇にカウントしない

※2：CBの得点詳細は第25条

25. 得点係数

各レースの得点計数は、すべて同じとし、2レースを行う場合は2レース合計で他のレースと同様にする。

26. コミッティ (CB) の得点計算方法

コミッティ担当艇の得点は、当該月を除く他の全レース(ノーレースは除く)の平均得点を算出し小数点第3位以下を四捨五入し少数点第2位まで記録する。

ただし、参加艇数により想定される最終フィニッシュ艇の得点より上記得点が高い場合は、最終フィニッ

シュ艇の得点を、またそのクラスで一艇もフィニッシュしなかった場合にはDNFと同じ得点をコミッティの得点とする。

27. クラス分け・レーティング

レース参加艇は全てPHRFクラスとし原則4クラスとする。
申込み艇数によってクラスを減じる、または増加する場合もある。
クラス分けとレーティングは艇の性能や過去の実績を基にレース委員会が独自の判断で決め、その結果についてはレース委員会に対する救済要求の対象とならない。

28. 成績の算出及び順位

成績算出はTime-On-Time方式を採用しクラス別に行う。
TYCレース委員会の定めたレーティングによって、各艇の所要時間(E T)から修正時間(C T)を算出し修正時間の少ないものを上位とする。
修正時間 (C T) = 所要秒数(E T) × TCF (レーティング)
修正時間は、少数点第2位以下を四捨五入し小数点第1位まで記録する。
尚、修正時間が同一の場合にはレーティングの小さい艇を順位の上位とする。
得点に小数点が発生する場合は、小数点第3位以下を四捨五入し少数点第2位まで記録する。
2艇以上が同一得点になった場合は、RRS附則A8により順位を決定する。
年間総合成績は、全レースの中で最も得点の悪い1レースをカットし合計得点が最も少ない艇より各クラス別に上位から順位を決定する。但しそのクラスで成立したレースが6レースに満たない場合のカットは行わない。
レース数は各クラス9レースとし、2レース以上の成立をもって年間総合成績を決定する。

29. 艇装の変更

レーティングに影響及ぼす艇体の改造/艇装の変更（（セールプラン、プロペラ、キール等の変更）を行った場合には、当該レース出艇申告前にレース本部に申告すること。
上記申告を怠り、レースに参加した場合には、レース委員会は当該艇に失格を含む罰則を課すことが出来る。

30. 賞

各レースクラス優勝、成績優秀艇及び総合順位での飛び賞を授与する。
年間総合成績の表彰は、各クラス1位～5位(クラス参加10艇以上)、1位～3位(クラス参加5艇以上)、各クラス1位～2位(各クラス5艇未満の賞を授与し、各クラスで実施された全レースに参加した艇には皆勤賞を授与する。他各賞をもうける。
海上エントリーをもってレース参加とする。

31. 表彰式

表彰式は第3戦・第6戦・第9戦の終了後に、各3レース分の表彰を実施し、各レースの優勝艇及び他各賞を設ける。
15時30分から、東京夢の島マリーナ1階アトリウムにて予定する。
年間総合表彰は、2025年12月6日(土)に行う(予定)。詳細は別途発表する。

32. 責任の所在

競技者は、自己の責任で参加し、参加艇とその乗組員の安全に関する全ての責任は各艇にあるものとする。当該レースの主催者、後援団体、協力団体、並びにレース委員会は、レースの期間中に生じた物理的損害または身体的障害（死亡、傷害、沈没、破損等）および、参加艇や参加者によって引き起こされた第三者に対する事故（死亡、傷害、沈没、破損等）にかかわるいかなる責任も負わない。

参加艇がスタートするか否か、またレースを続行するか否かの判断は各艇が行うものであり、当該レースの主催者、協力団体、協力団体、並びにレース委員会はいかなる責任も負わない。

レース委員会とは、TYCレース委員会およびレース担当コミッティーとする。

33. レース本部 及び 緊急連絡先

陸上本部	080-8082-0787 (TYCクラブハウス)
海上本部	080-1391-5877 (レース担当本部船)
海上本部	(国際VHF) 69chとする
東京夢の島マリーナ	03-5569-2710
東京海上保安部	03-5564-2021
海上緊急通報	118

TYCでは安全なレース運営の為に、本部艇および警戒艇の通信は国際VHFを使用する。リコール艇のコール等にも使用するのので、国際VHFの利用を強く推奨する。

※申告の特例

TYCヨットレース 2025 に出場する艇は、通常の出艇・帰着申告に代えて下記の方法で申告をすることが出来る。なお、最初のレース参加までに申告すること。

- 年間エントリー艇
 - リコールナンバー記載のクラス旗を事前に預かり、所定の連絡票内容を記載されたシールを艇のよく見えるところに常備することで都度の授受に代えることが出来る。

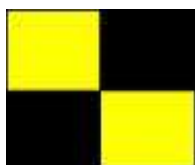
※ブイの予定位置

ブイの予定位置は下記とするが、予定であり艇長会議またはレース海面にて変更される場合がある。ブイの緯度経度のずれ、艇長会議またはレース海面での変更情報が未達であったことはレース委員会に対する救済要求の対象とならない。

- ブイ回りでのレース海面 : N35° 35' 20" E139° 53' 00" を中心とした半径 1.0 マイルの海域
- セミロングのスタート : N 35° 36' 54" E 139° 52' 42"
- セミロングの回航マーク : N 35° 31' 18" E 139° 53' 37"

信号旗と主に使われる用途

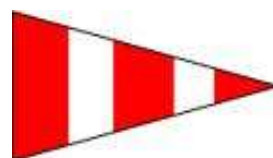
これは信号旗の一部である、必ず競技規則のレース信号の記載を参照する事。



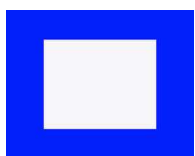
L旗：声の届く範囲に
来い
(海上エントリー)
る。



Y旗：ライジャケ着用



回答旗 (AP旗)
スタートしていないレースを延期す



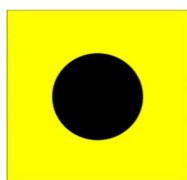
P旗：準備信号 (4分前)



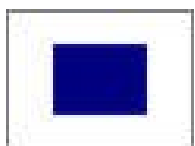
X旗：個別リコール艇あり



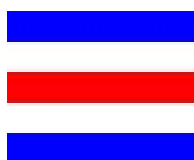
第一代表旗：ゼネラルリコール



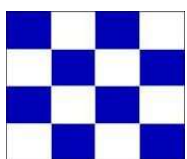
I旗：RRS 30. 1を適用する。



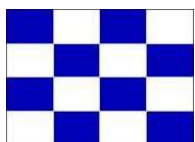
S旗：コースは短縮された。



C旗：次のマークの位置を変更した。



N旗：スタートした全てのレースを中止する。
スタートエリアに戻れ (降下の1分後に予告信号を発する)



A旗の上にN旗：全てのレースを中止する。 本日はこれ以上レースを行わない